

コンテナ容器によるカンキツ2年生大苗の生産技術を開発しました

背景

カンキツ苗木の生産ほ場では、豪雨や高温及び寒波などの災害により、苗木の生育不良や枯死被害などが発生することが問題となっていました。

成果の内容

苗木の災害回避を可能とする、コンテナ容器によるカンキツ2年生大苗の生産技術を開発しました。

土壌容量と苗木の生育

土壌容量 (ℓ)	葉数 (枚)	主枝数 (本)
2.5	89	2.7
9.0	108	2.8

土壌容量が2.5ℓと少なくても
育苗可能



定植はオーガで穴を空けて苗木を
差し込むだけで省力的

大苗を園地に植えた1年後の生育

2年生大苗の 育苗方法	樹高 (cm)	樹冠容積 (m ³)
コンテナ (2.5ℓ)	122	0.75
地床	115	0.43

コンテナ苗は慣行の地床苗と
定植後の生育は同等

【研究チームのコメント】

○少ない土壌容量でも栽培できるため、災害時には苗木の移動が容易です。

○コンテナ苗は出荷の際に根が切れたり乾燥したりしないため、園地に植えた後の生育も良好です。

(苗木・花き部 苗木チーム)